

日興レジェンド・イーグル・ファンド  
(資産成長コース)(円ヘッジコース)(毎月決算コース)  
追加型投信/内外/株式



販売用資料

臨時レポート

**Amundi**  
Investment Solutions

Trust must be earned



ちから

# 『守る力が 資産を育てる力に』

ちから

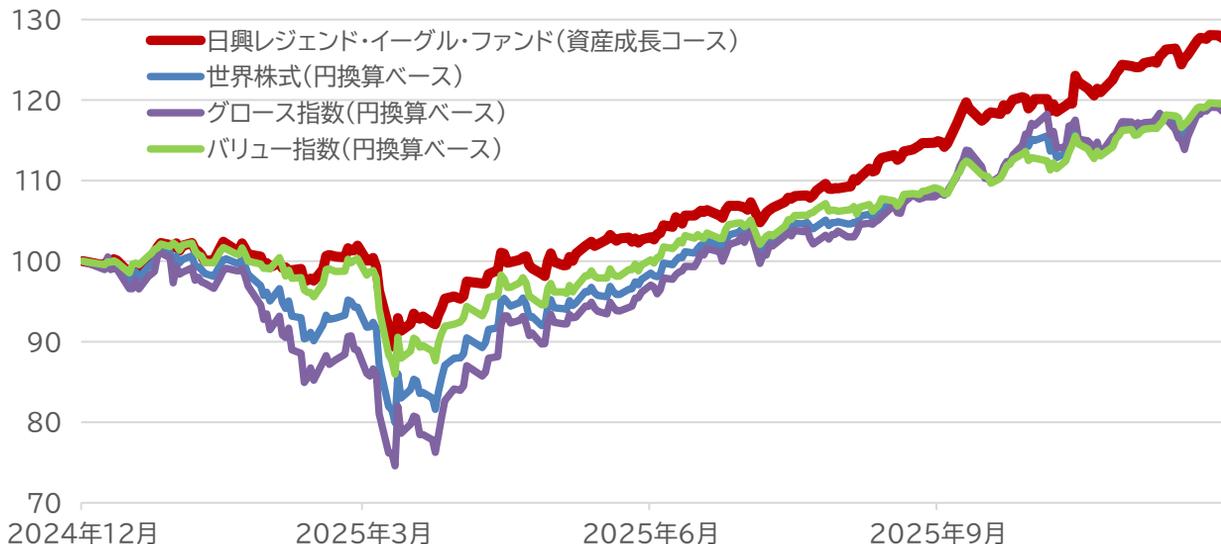
損をしないことを大切に、長期で着実な資産づくりを目指す

2026年2月 アムンディ・ジャパン株式会社

日興レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース)、日興レジェンド・イーグル・ファンド(円ヘッジコース)、日興レジェンド・イーグル・ファンド(毎月決算コース)の3つのコースを総称して「日興レジェンド・イーグル・ファンド」または「ファンド」「当ファンド」という場合があります。毎月決算コースは、NISAの対象ではありません。当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# 基準価額の推移

2025年、米国市場は過熱感と地政学リスクが共存する中、日興レジェンド・イーグル・ファンドは、底堅い動きを見せました。



2024年12月30日を100として指数化。期間:2024年12月30日~2025年12月31日。日次。

出所:アムンディ・ジャパン株式会社。

世界株式:MSCIワールド・インデックス、グロース指数:MSCIワールド・グロース・インデックス、バリューストック指数:MSCIワールド・バリューストック・インデックス、いずれもトータルリターンを使用。ファンド基準日の前日の米ドルベースのデータ(トータルリターン)を当日の為替を用いて換算。日興レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース)基準価額(信託報酬控除後)。使用した指数の権利については、最終頁をご覧ください。上記は過去のデータであり、将来を示唆または保証するものではありません。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

## 1 哲学

「守り」の徹底からすべてが始まる  
運用チーム※1の2つの投資ルール

※1ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュース・チーム

### 哲学1

## 資産の保全

- ▶ 鉄則1: 損をしないこと
- ▶ 鉄則2: 鉄則1を決して忘れないこと

つまり → 大きな「**損をしないこと**」を最優先  
長期で投資を続ける力を提供

### 哲学2

## バリュース投資

- ▶ 株価は長期的に企業の本源的価値※2に戻る
- ▶ 例外を設けないバリュース投資を徹底

つまり → 割安で投資・割高で売却を徹底  
継続こそ成果を生む原動力に

※2ファースト・イーグル・インベストメンツの独自分析により算出した企業が本来有する価値

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

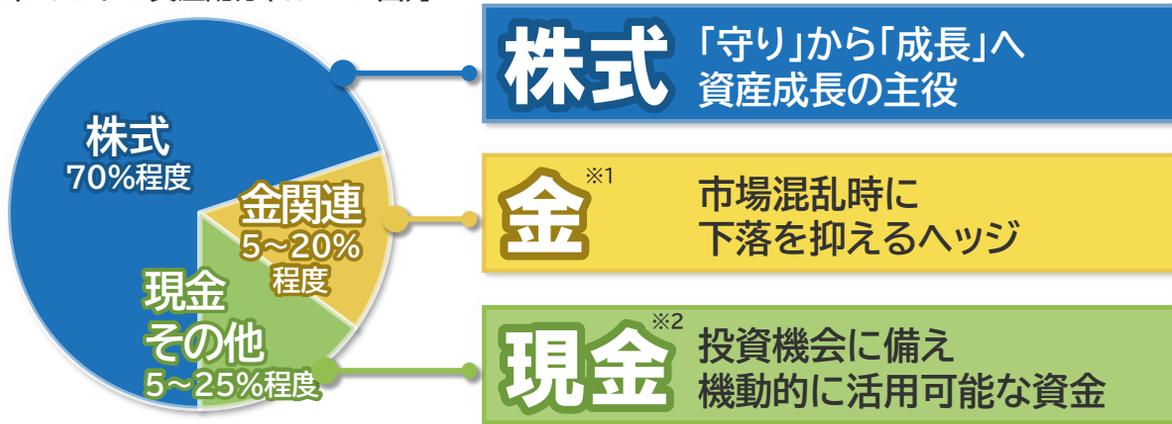
当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

## 戦略

## 「守り」と「成長」を両立させる 資産配分

株式・金・現金の各資産を組み合わせるユニークな投資で、無理なく投資を続けられる体制を維持

【当ファンドの資産配分(イメージ図)】



※1 当ファンドの主要投資対象ファンドでは、金ETF、金関連株式に投資します(金現物は含まれません)。 ※2 現金同等物などを含む

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。  
資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# 戦略:株式

## 株式 割安で買い、本源的価値を上回ったら売却



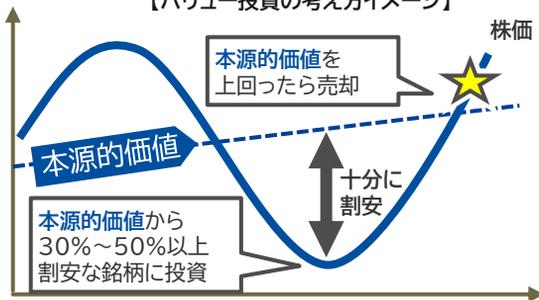
このファンドのバリュー投資は実際どう銘柄を選ぶの？

ファースト・イーグル・インベストメンツの独自の企業価値分析に基づき、「守り」から「成長」を狙う投資を行っています。

解説します！



【バリュー投資の考え方イメージ】



### ポイント

- 「守り」:有形・無形の希少資産を持つ質の高い企業を選定し、本源的価値より十分に割安な銘柄に投資、大きな損失の回避を目指す
- 「成長」:株価は時間と共に本源的価値に回帰する可能性が高いという前提に立ち、株価が企業の本源的価値に到達した段階で売却、利益を確定



▶ 割安な局面を逃さず、価値が回帰するまで保有を続けることが、資産成長につながる

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。  
資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

## 戦略:金

## 金

## 株式とは異なる動きで、安定感をプラス



金は分散投資に効果的な資産なの？

安全資産である金は、株式市場の下落局面で相対的に強さを示す傾向があります。分散投資先としての需要の高まりから金の価格は引き続き下支えされる可能性があります。

解説します！



【金価格と世界株式の推移】  
(米ドルベース)



## ポイント

- ヘッジ効果:株式と異なる動きで下落局面の影響を抑える(主要投資対象ファンドでは常時5~20%程度の金関連資産を保有)
- 需要を支える要因:地政学リスクやインフレ懸念、中央銀行の保有増
- プロによる運用:綿密な市場分析に基づく、戦略的な売買により、運用効率を最大化



▶ パフォーマンスの安定化を目指すことが、長期投資の継続を支える

期間:1992年1月末~2025年7月末、月次 1992年1月末を100として指数化 出所:アムンディ・ジャパン株式会社 世界株式:MSCIワールド・インデックス(ネットリターン、配当込)を使用「日興レジェンド・イーグル・ファンド」の主要投資対象ファンドでは、金ETF、金関連株式に投資します(金現物は含まれません)。指数の権利については、最終頁「当資料で使用した指数について」をご覧ください。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

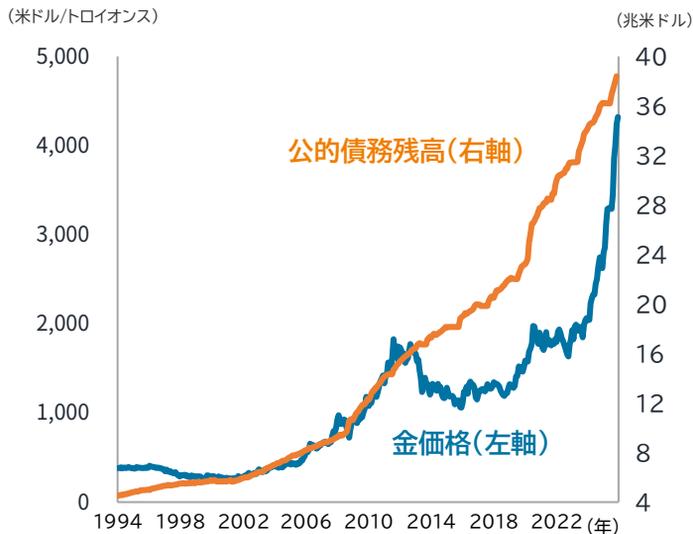
当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# ご参考:金価格をどう捉える? ~不確実性の高い世界で引き続き高い支持~

米国の公的債務が膨らむほど金への注目度が高まるものの、S&P500と比べると依然割安な水準

## 金価格と米国の公的債務残高の推移

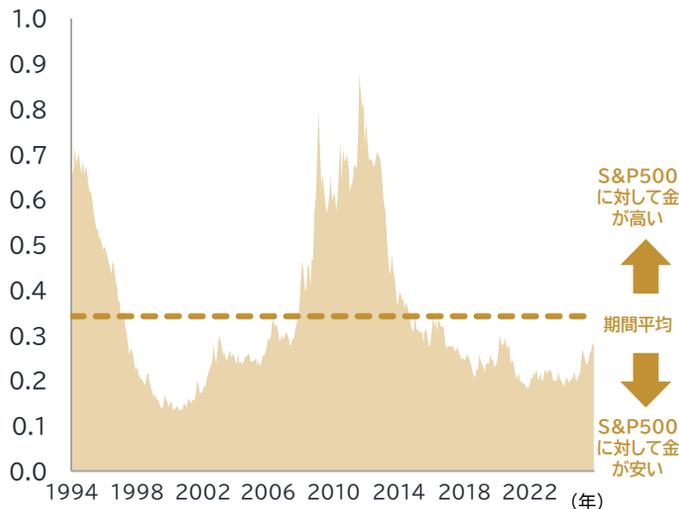
米国債務と金価格は連動しやすい傾向、  
米ドル信認の度合いを測る資産としての金



期間:1994年1月末~2025年12月、月次、公的債務残高は2025年11月まで  
出所:アムンディ・ジャパン株式会社

## 金価格と米国株式の比率

金/S&P500比率は平均以下の水準、  
底堅い金需要から相対的な上昇余地



期間:1994年1月末~2025年12月、月次  
出所:アムンディ・ジャパン株式会社

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

## 戦略:現金

## 現金※ 突然現れる投資機会に備える

※現金同等物などを含む



現金を持っているだけじゃ意味がないんじゃないの？

市場が割安と判断される局面では、素早い投資が重要です。だから現金は、チャンス逃さないための「機動力」なのです。

解説します！



【主要投資対象ファンド\*の現金比率と世界株式の推移】



## ポイント

- 「攻め」:好機に即応できる準備資金  
(主要投資対象ファンドでは常時5~25%程度を現金などで保有)
- 「守り」:急落時のクッションとして  
ポートフォリオ全体の安定性を高める効果

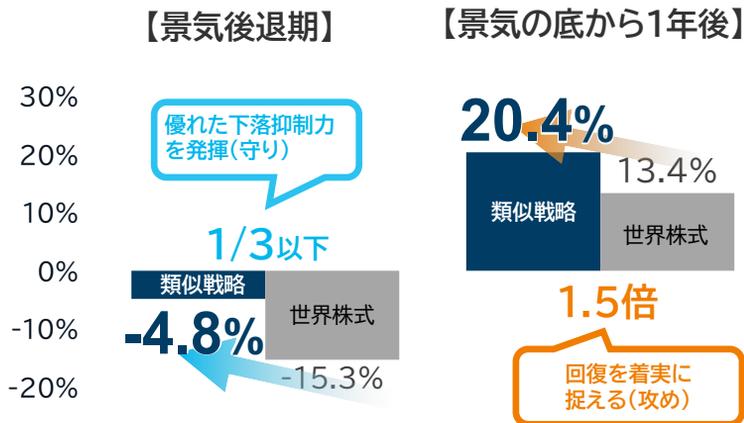


▶ 機会を逃さず行動できることで、資産成長の流れを途切れさせない

期間:2009年9月末~2025年7月末、月次。世界株式は、2009年9月末を100として指数化。現金比率には現金同等物等を含みます。出所:ファースト・イーグル・インベストメントズのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。\*日興レジェンド・イーグル・ファンドの主要投資対象ファンド:ファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド 世界株式:MSCIワールド・インデックス(ネットリターン、配当込)を使用。資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。指数の権利については、最終頁の「当資料で使用した指数について」をご覧ください。

# 類似戦略の実績～過去の景気後退局面～

## 過去の景気後退局面では、下落を抑え、回復はしっかり捉える



市場と比べて...

- 回復局面で  
約**1.5倍**のリターン
- 景気後退局面で  
下落幅を**1/3**以下に抑制

出所：ファースト・イーグル・インベストメンツ等のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。景気後退期は2000年以降の全米経済研究所(NBER)のデータに基づく。以下の3回の景気後退期における騰落率の平均。景気後退期①2001年3月末～11月末、景気後退期②2007年12月末～2009年6月末、景気後退期③2020年2月末～4月末、米ドルベース。類似戦略：米国の運用会社ファースト・イーグル・インベストメント・マネジメント社(以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ)のグローバル・バリューストック戦略、世界株式：MSCIワールド・インデックス(ネットリターン、配当込)を使用。グローバル・バリューストック戦略はコンポジットの月次ネットリターンから算出。指数の権利については最終頁をご覧ください。

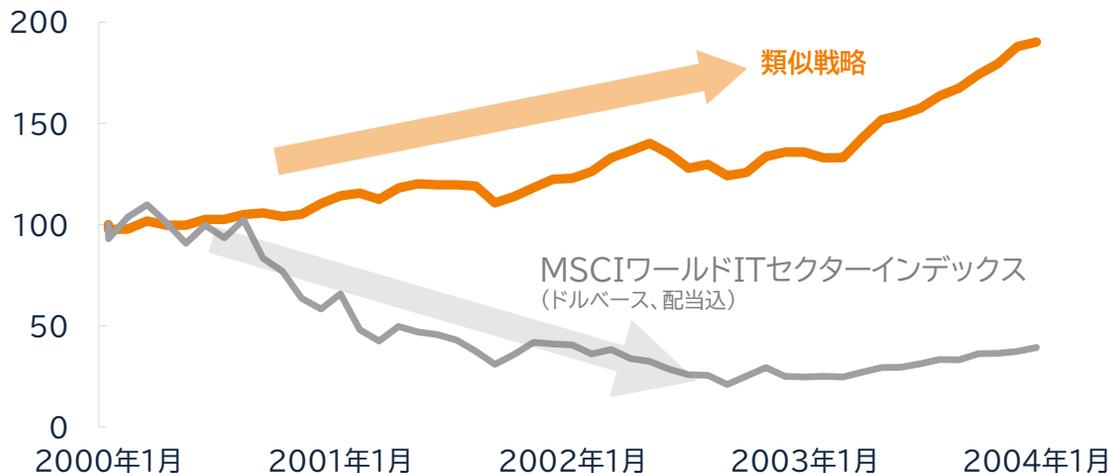
【ご注意】上記はファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリューストック戦略の運用チームの投資哲学と過去の実績を示したものであり、日興レジェンド・イーグル・ファンドの将来の運用成果等を示唆または保証するものではないことに十分にご注意ください。また、グローバル・バリューストック戦略はファンドが主要投資対象とするファースト・イーグル・グローバル・バリューストック・マスター・ファンド(以下、マスター・ファンド)と運用チーム、運用哲学は同一ですが、マスター・ファンドでは金現物に投資しないなど銘柄選択過程の一部や費用が異なっています。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# 類似戦略の実績～過去の下落局面「ITバブル」～

## 過去の下落局面の例:2000年「ITバブル」

- ITバブル時、IT関連株への投資を控えた
- ITバブル崩壊後、ITセクターと当戦略のパフォーマンスは大きく乖離



2000年1月1日を100として指数化。期間:2000年1月1日～2004年1月末、月次。

出所:ファースト・イーグル・インベストメンツ等のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

\*「日興レジェンド・イーグル・ファンド」の主要投資対象ファンド(マスター・ファンド)は、「ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリューストラテジー」と同一の運用チーム、運用哲学で運用されています。類似戦略:米国の運用会社ファースト・イーグル・インベストメント・マネジメント社(以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ)のグローバル・バリューストラテジーを使用。グローバル・バリューストラテジーの累積リターンはコンジョイントの月次ネットリターンから算出。指数の権利については、最終頁「当資料で使用した指数について」をご覧ください。

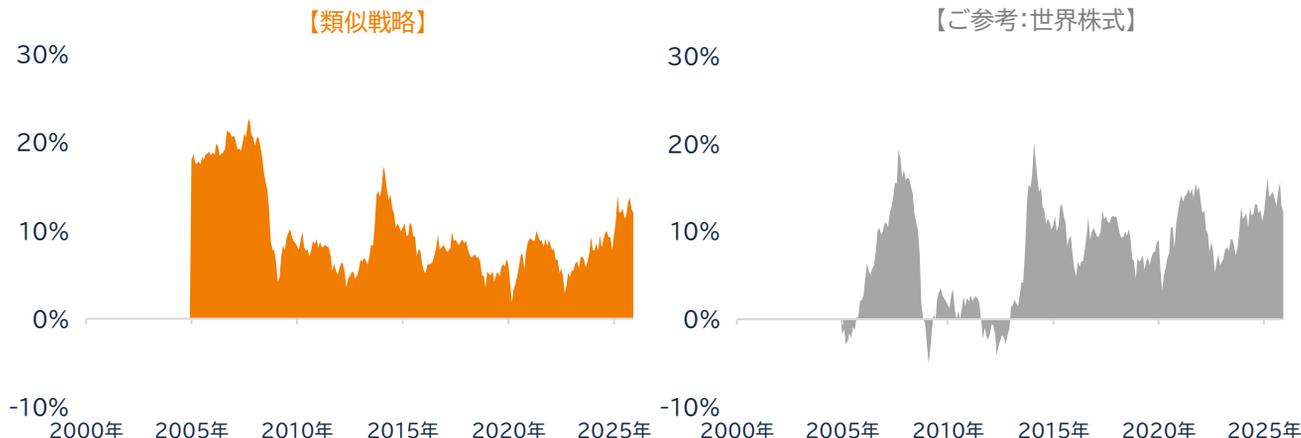
【ご注意】上記はファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリューストラテジーの運用チームの投資哲学と過去の実績を示したものであり、日興レジェンド・イーグル・ファンドの将来の運用成果等を示唆または保証するものではないことに十分ご注意ください。また、グローバル・バリューストラテジーはファンドが主要投資対象とするファースト・イーグル・グローバル・バリュー・マスター・ファンド(以下、マスター・ファンド)と運用チーム、運用哲学は同一ですが、マスター・ファンドでは金現物に投資しないなど銘柄選択過程の一部や費用が異なります。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# 類似戦略の実績～5年間保有した場合～

## 類似戦略の5年間の年率リターンは、すべてプラス

【保有期間5年間の年率リターン(ドルベース)】



基準月まで5年間保有した場合の年率リターンです。

例えば、2025年12月末の年率リターンは、2020年12月末から2025年12月末まで5年間保有した場合の年率換算したリターンとなります。

期間:2000年1月1日～2025年12月末、月次。

出所:ファースト・イーグル・インベストメンツ等のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。類似戦略は米国の運用会社ファースト・イーグル・インベストメント・マネジメント社(以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ)のグローバル・バリューストック戦略を使用。グローバル・バリューストック戦略はコンポジットの月次ネットリターンから算出。世界株式はMSCIワールド・インデックス(ネットリターン、配当込)を使用。使用した指数の権利については、最終頁の「当資料で使用した指数について」をご覧ください。

【ご注意】上記はファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリューストック戦略の運用チームの投資哲学と過去の実績を示したものであり、日興レジェンド・イーグル・ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではないことに十分ご注意ください。また、グローバル・バリューストック戦略はファンドが主要投資対象とするファースト・イーグル・グローバル・バリューストック・マスター・ファンド(以下、マスター・ファンド)と運用チーム、運用哲学は同一ですが、マスター・ファンドでは金現物に投資しないなど銘柄選抜過程の一部や費用が異なります。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

## R&amp;I受賞歴



R&I ファンド大賞2023  
「投資信託10年/外国株式バリュウ」部門  
「投資信託/外国株式バリュウ」部門  
**最優秀ファンド賞 受賞**

R&I ファンド大賞2024  
「投資信託10年/外国株式バリュウ」部門  
**優秀ファンド賞 受賞**

R&I ファンド大賞2025  
「投資信託10年/外国株式バリュウ」部門  
「投資信託/外国株式バリュウ」部門  
**優秀ファンド賞 受賞**

部門	カテゴリー	ファンド名	
投資信託 10 年部門 投資信託部門	外国株式 バリュウ	日興レジェンド・イーグル・ファンド (資産成長コース)	 
投資信託 10 年部門 投資信託部門	外国株式 バリュウ	日興レジェンド・イーグル・ファンド (毎月決算コース)	

※3年連続受賞は、「投資信託10年部門」に関するものです。

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託部門」は過去3年間、「投資信託10年部門」は過去10年間を選考期間とし、シャープレシオ<sup>\*1</sup>によるランキングに基づき、最大ドローダウン<sup>\*2</sup>、償還予定日までの期間、残高の規模等を加味したうえで選考しています。選考対象は国内籍公募追加型株式投資とし、評価基準日は各年の3月31日です。上記評価は、過去の一定情報を分析した結果得られたものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

\*1 シャープレシオとは短期確定金利商品に対するファンドの超過収益率を収益率の標準偏差(リスク)で割った値です。

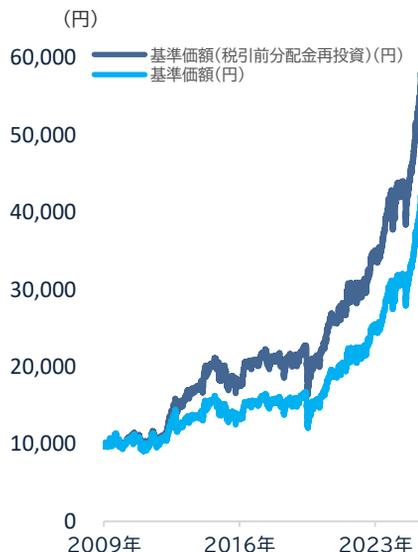
リスク1 単位当たりの超過収益率を示します。

\*2 ドローダウンとは、最大資産からの下落率のことであり、それらのドローダウンの最大となった値を最大ドローダウンといいます。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# 選べる3つのコース

## 資産成長コース (2009年9月11日設定)



(2009年9月11日～2025年12月30日、日次)

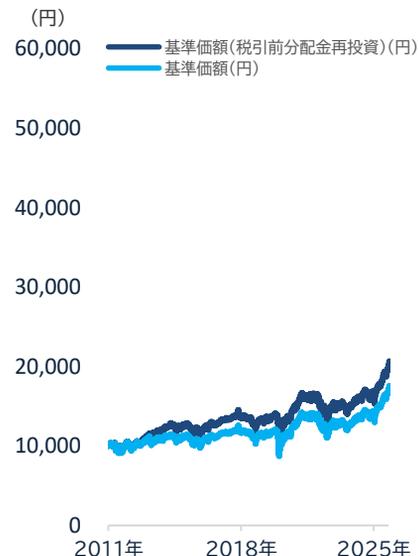
## 毎月決算コース (2011年3月18日設定)

2025年12月分配金実績  
(1万口当たり、税引前) **150円**



(2011年3月18日～2025年12月30日、日次)

## 円ヘッジコース (2011年3月18日設定)



(2011年3月18日～2025年12月30日、日次)

基準価額は信託報酬控除後です。基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# ファンドの目的・特色・リスク

## ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて中長期的な投資信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。

## ファンドの特色

- 1 米国有数の独立系運用会社ファースト イーグル インベストメント マネジメント社(以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ)が運用する「ファースト・イーグル・グローバル・バリュエーション・マスター・ファンド(以下、マスター・ファンド)」へ、主に投資します。
  - 主としてケイマン籍の外国投資信託「マスター・ファンド」の受益証券と国内籍の投資信託「CAMネーブルファンド(適格機関投資家専用)」の受益証券に投資します。世界の株式等への実質的な投資は「マスター・ファンド」を通じて行います。
  - 「マスター・ファンド」の運用は、ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュエーション・チームが行います。また、「CAMネーブルファンド(適格機関投資家専用)」の運用はアムンディ・ジャパン株式会社が行います。
- 2 主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、ドルベース<sup>※</sup>で相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで投資信託財産の長期的な成長を目指します。
  - 世界各国(エマージング地域にも投資することがあります。)の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、フリーキャッシュフロー等、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。
  - 分析の結果、十分に割安で魅力的であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。
  - ファンドは、特定の株価指数にとらわれない運用を行うため、ベンチマークを設定しておりません。
  - 「マスター・ファンド」において、ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、ドル以外の他通貨売り/ドル買いの為替取引(ドルベースでの為替ヘッジ)を行うことがあります。

※当資料では、「ドル」とは米ドルのことを指します。
- 3 「資産成長コース」、「円ヘッジコース」、「毎月決算コース」それぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。
  - スwitchingの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。

◆資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。◆

# ファンドの目的・特色・リスク

## 投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。＞

## ※当資料のお取扱いについてのご注意

■当資料は、法定目論見書の補足資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、法令等に基づく開示資料ではありません。■当ファンドの購入のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、お受取りの上、内容は投資信託説明書(交付目論見書)で必ずご確認ください。なお、投資に関する最終決定は、ご自身でご判断ください。■当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。■当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。■投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。■投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属いたします。■投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。■投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

# 収益分配金に関する留意事項

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合

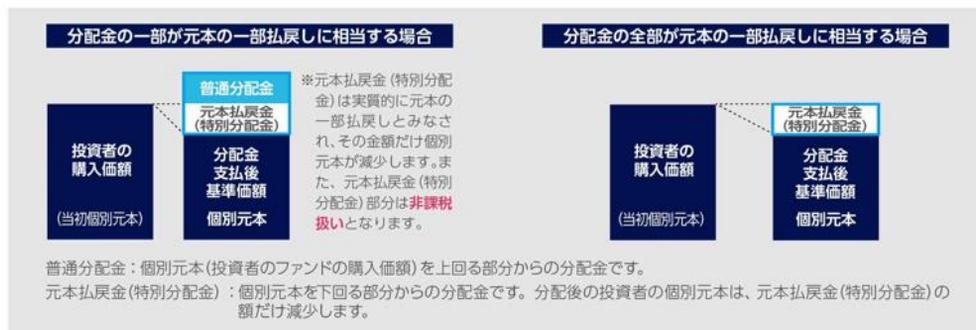


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

# 収益分配金に関する留意事項 販売会社一覧

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



## 販売会社一覧(業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	加入協会				
			日本証券業協会	一般社団法人 投資信託協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○			○	○
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○		○		○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	○	
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○		○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○		○	○	○
株式会社SB証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○	○

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

## お申込みメモ・ファンドの費用

お申込みメモ		資産成長コース	円ヘッジコース	毎月決算コース
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。			
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。			
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。			
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。			
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。			
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、6営業日目からお支払いします。			
購入換金申込受付不可日	ニューヨークもしくはケイマンの銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休場日の場合はスイッチングを含め、受付できません。			
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。			
換金制限	換金の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。			
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品市場における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消することができます。			
信託期間	原則として、無期限とします。 (設定日：2009年9月11日)	原則として、無期限とします。 (設定日：2011年3月18日)		
決算日	年2回決算、原則毎年6月、12月の各5日*です。 *当該日が日本の休業日の場合は翌営業日とします。		年12回決算、原則毎月5日*です。	
収益分配	原則として年2回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 「分配金再投資コース」は税引後無手数料で再投資されます。		原則として年12回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。	
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。資産成長コースおよび円ヘッジコースは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。毎月決算コースは、NISAの対象ではありません。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。			
スイッチング	資産成長コース、円ヘッジコースおよび毎月決算コースそれぞれで無手数料でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。詳しくは販売会社にお問合せください。			

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。

# お申込みメモ・ファンドの費用

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は <b>3.3% (税法3.0%)</b> です。
信託財産留保額	ありません。

### 投資者が投資信託財産の間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各コースの純資産総額に対し <b>年率1.232% (税法1.120%)</b> をそれぞれ乗じて得た金額とします。各コースが投資する投資信託証券の有価証券届出書作成日現在の運用報酬の上限額は、各投資信託証券の運用資産の純資産総額に対し、それぞれ年率0.8%および0.385%を乗じて得た金額となります。したがって、当該運用報酬を考慮した場合の <b>各コースの実質的な負担の上限は、年率2.032% (=1.232%+0.8%)</b> となります。ただし、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュースター・ファンド」の運用報酬の最低金額は25万ドルとなっているため、純資産総額によっては年率2.032%を上回ることがあります。実際の信託報酬の合計額は投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。
------------------	--

その他の費用・ 手数料	<p>その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用</li> <li>・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書開連費用等を含みます。)</li> <li>・投資信託財産に関する租税 等</li> </ul> <p><b>※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示することはできません。</b></p>
----------------	--

- ◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
- ◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

委託会社、 その他の関係法人	<p>委託会社：アムンディ・ジャパン株式会社  金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号  加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会  一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p> <p>受託会社：野村信託銀行株式会社  販売会社：販売会社については巻末をご参照ください。</p>
ファンドに関する 照会先	<p><b>アムンディ・ジャパン株式会社</b>  お客様サポートライン：050-4561-2500  受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで  ホームページアドレス：<a href="https://www.amundi.co.jp/">https://www.amundi.co.jp/</a></p>

### 【当資料で使用した指数について】

MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属します。S&Pの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。

当資料中に引用した各インデックス(指数)の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

【5202151】

当資料は、過去の実績に基づくものであり、将来の投資収益等を保証するものではありません。  
「投資リスク」、「ファンドの費用」、「当資料のお取扱いについてのご注意」等を必ずご確認ください。